

授業公開シート

授業者 書き込み欄		
授業者	佐武 昇	
公開日	2018年 10月 26日 金曜日 5限	
授業場所	理科実験室	
教科・学年	理科・3年生	
授業内容の簡単な説明	タイトル：酸性、アルカリ性の水溶液（第3時/10時間）	
<p>私たちの身のまわりにはさまざまな水溶液が存在し、酸性、中性、アルカリ性の性質があります。今回は、いくつかの水溶液を用意して、リトマス試験紙、BTB溶液といった指示薬で酸性・アルカリ性を見分けます。続いて、既習事項を活用して、水溶液のもつ性質を調べることで水溶液を同定します。この授業をとおして、物質の同定には、物質の性質をよく理解することが大切であることを実感させたい。</p>		
ねらい	※どのような見方・考え方を働かせて、資質・能力を高めたいと考えていますか？	
<p>水溶液を酸性・アルカリ性に分け、さらに水溶液のもつ性質に関する知識を用いて水溶液を同定することで、結果を分析し解釈する力を高める。</p>		
中心となる 課題や問い	・それぞれの水溶液が何であることを調べよう。	
生徒の学習活動		形態
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○酸性、アルカリ性の水溶液の性質を確認する。 ・酸性の水溶液にマグネシウムリボンを加えると水素が発生する。 ・アルカリ性の水溶液にフェノールフタレイン溶液を加えると赤色に変化する。 ・BTB溶液に酸性、アルカリ性の水溶液を加えると、酸性は黄色、アルカリ性は青色を示す。 など 	一斉
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○水溶液を酸性・アルカリ性に分ける実験を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・指示薬を用いて、用意された水溶液を酸性、アルカリ性に分ける。 ○酸性・アルカリ性に分けた水溶液を同定するための方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた試薬や器具を用いて、どのような結果になれば水溶液を同定できるのかを考える。 ○班で考えた方法で水溶液に起こる変化を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・実験を行い、結果をワークシートに記録する。 ・実験終了後、後片付けを行う。 ○実験結果から、用意された水溶液を同定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・同定した水溶液が何なのかを根拠と共にワークシートに書く。 	班
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○同定した水溶液について発表し、確認する。 ○振り返りに正しく同定するためにどんなことが必要であったのかを書く。 	一斉 個人
評価の仕方	ワークシート（水溶液のもつ性質をもとに正しく水溶液を同定することができる。）	

メモ欄	参観者 書き込み欄	
	参観者	
	ねらい	※ねらいにせまれていましたか？
	学びの視点（主体的・対話的・深い学び）	※学びについてはどうでしたか？
	授業スキル	良かったところ
感想		

折
り
線